

ほけんだより

令和元年5月22日 松波小学校

ねんせい しびかけんしん
1. 4年生は耳鼻科検診があります！

ほけんしつ
5月23日(木) 午後1時25分から 保健室

こんな順番で調べます

① 最初に耳を調べます

まえひに、みみのそうじをしておきましょう。



こんなことをみています

- 耳の中が赤くなったり、はれたりしていないか
- 耳の中がジュクジュクしていないか
- こまくはきれいか
- 耳垢はたまっていないか

② 次に鼻を調べます



こんなことをみています

- 鼻水が多すぎないか
- ねばりのある鼻水がでていないか
- 鼻づまりはないか

③ 最後に口を開けて、のどを調べます



こんなことをみています

- のどの奥が赤くなったり、はれたりしていないか

★ 医師にしっかりと名前を言い、あいさつをしましょう。

(例：山田太郎です、お願いします。→ありがとうございました。)

★ 担当は宇出津総合病院 坂本先生です。

★ おうちの方へ：裏に、子どもに多い耳鼻科の病気を載せましたので、参考にしてください。

耳垢栓塞

症状

耳垢が詰まって、完全に耳の穴を閉塞してしまう状態です。周囲の音が聞こえにくくなる場合があります。感染をおこすと、強い痛みを生じる場合もあります。

治療

耳の中を傷つけないよう慎重に、たまった耳垢を取り除きます。大きな塊になっていたり、皮膚に強く付着しているような場合は、薬剤で溶かして取ることもあります。

滲出性中耳炎

症状

鼓膜の奥の中耳腔に浸出液という液体がたまる病気です。急性中耳炎と違い、発熱や痛みはありませんが、聞こえが悪くなります。

治療

中耳腔に貯留した水を取り除く治療と、中耳腔の換気をする耳管の働きを改善させる治療とを並行して行います。水が引きにくい場合は鼓膜切開を行いますが、それでも反復するようなら鼓膜にチューブを差し込む手術を行います。

難聴

症状

難聴は、外耳や中耳に原因のあるもの（伝音難聴）と、中耳の奥の内耳や聴こえの神経に原因があるもの（感音難聴）の二つに分けられます。

- ・ 伝音難聴をおこす病気…鼓膜穿孔、中耳炎、耳垢栓塞など
- ・ 感音難聴をおこす病気…突発性難聴や聴神経腫瘍など

治療

伝音難聴の場合は、難聴の元になっている病気を治療すれば、一般に難聴も治ります。感音難聴では、治療は困難です。ただし、突発性難聴はステロイドホルモンなどを含む飲み薬や点滴治療で改善できる場合があります。

副鼻腔炎

症状

副鼻腔（鼻と眼を取り囲む骨の中にある空洞）に炎症がおこって膿が溜まったりするものを副鼻腔炎（別名「ちくのう症」）といいます。鼻のつまり、色のついた粘り気のある鼻汁、頭痛、痰のからみやせきなどの症状が出ます。ウイルス感染、細菌感染、またアレルギーなどが複合的に関与しておこります。

治療

鼻汁の吸引や鼻と副鼻腔の交通路を広げる処置を行った上で、ネブライザーという薬液を噴霧する治療を行います。病態に合わせて、抗菌剤や抗アレルギー剤などを適切に組み合わせた薬を内服します。これらを一定期間続けても効果がない場合には手術も考慮されます。